

東京駅が選んだのは、
地球温暖化係数「0」の技術。

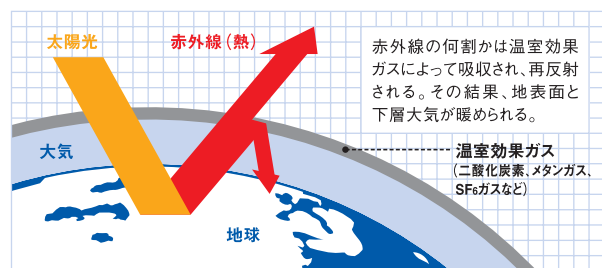
この広告のビジュアルは、一部合成しています。

温室効果ガス不使用。「空気」による絶縁を可能にした「東京駅のブレーカー」。

三菱電機のドライエア絶縁スイッチギヤ

1 東京駅が選んだのは「ドライエア」

東京駅にある配電所。東京駅では、バリアフリー化による昇降機の設置や、構内施設の充実化のため、急激に電力需要が伸びており、そうした需要に対応し電気の供給を行なっています。そこで使われている新しいスイッチギヤには、電気の絶縁のために通常使われる温暖化係数の高いSF₆ガスの代わりに、温暖化係数ゼロのドライエア（乾燥空気）を使用しています。



2 電気の安定供給に欠かせない「スイッチギヤ」

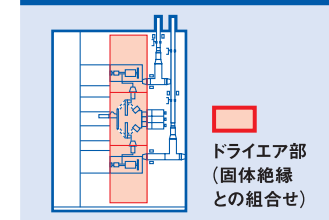
「スイッチギヤ」とは、漏電などの突発的な電気事故の際に、電気を切ることでその影響を最小限におさえるための設備です。駅などの公共施設へ電力会社から供給される電圧は電圧が高いため、電気の通り道の安全性を確保するために、外部と隔離して絶縁する必要があります。この絶縁のためにSF₆ガスが使われていました。



3 これまでの概念を覆した三菱電機のドライエア絶縁

SF₆ガスを使わずに高い電圧の電気を絶縁するには、絶縁距離を長くする方法がありますが、設置面積の増大が大きな問題でした。

ドライエア絶縁スイッチギヤ断面図



三菱電機は、固体絶縁を絶妙なバランスで併用する方法によって、ドライエアを使った高い絶縁性能を確保することに成功。現在では、高圧から特別高圧まで、さまざまな製品のラインナップを実現しています。

4 技術と行動で人と地球に貢献する

三菱電機グループでは、環境経営における長期ビジョン「環境ビジョン2021～技術と行動で人と地球に貢献する～」を策定しました。温室効果ガスの使用削減も、このビジョンの考えにもとづく活動のひとつです。こうした取り組みを通じて、これからも持続可能な社会の実現に貢献してゆきます。

※ <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/eco/vision/2021.html>

〈キー・テクノロジー〉で 変える。